

かたな たじまのかみほうじょうじたちばなさだくに
 刀・但馬守法城寺橋貞國

●所在地／灘町 ●所有者／個人

- 銘 但馬守法城寺橋貞國
- 姿 反りの少ない先細る中切先ちゅうきつさきの刀姿
- 地金 板目肌細かく詰み 地沸じにえつく
- 刃文 広直刃 五の目足入り 元の方に五の目交る 小沸出来こにえでき深い
 鉈子ぼうし小丸こまる
- 中心 先細り栗尻 目釘穴めくぎあな 1 個
- 時代 江戸

江戸新刀法城寺の作風を示す典型的な一口ひとふりである。

